

FLENS株式会社(東京都港区)は、塾生保護者のファン化を推進するアプリ「School Manager」を開発・販売している。この秋からはオプション機能として、小テストや宿題などでの活用を想定した「学習機能」を追加することが決定した。新機能追加の背景や、塾業界に与えようとしているインパクトなどについて、代表取締役社長の大生隆洋氏に取材した。

スマホでできる「学習機能」を School Manager に搭載。学習に革新を起こす

小テストの実施率と成績には相関関係が

— School Manager に新機能が搭載されるそうですね。

はい。教室の雰囲気や熱量を、保護者がスマホで簡単に確認できるコミュニケーションアプリ School Manager は、2020年にリリースしました。塾生保護者のファン化を推進し、学習塾の経営基盤を強化するこのアプリは現在、16万人以上の方にご利用いただいています。このアプリを提供して感じるようになったのが、スマホを使えば学習塾の学習管理に革新を起こせるのではないかと。スマホは画面が小さいの

で、学習ツールとしてできることに制約がありますが、知識の定着や確認や日々の小テスト管理などには向いていると考えて開発を進めたのが、「学習機能」の追加です。現在、ある大手塾でトライアル導入をいただいています。

—— トライアル導入でエビデンスのようなものはあったのでしょうか。

毎回の授業での小テストの実施を各教室に指示していたのですが、小テスト機能を活用することで実施状況が本部でタイムリーに把握できるようになったことで、実施していない教室がそれなりにあることが判明したのです。小テストの実施率と成績

紙もスマホも利用可能選べる3タイプ

—— 学習機能は実際、どのような仕様になっているのでしょうか。

出題や回答の形式は3タイプ用意しました。まず一つ目が問題文の表示から回答、採点に至るまで、すべてスマホで完結するというものです。

二つ目が問題は従来通り紙のプリントで解き、回答と採点はスマホでおこなうというものです。

そして三つ目がプリントで採点まで終わらせ、正誤の結果のみをスマホに入力するというものです。

テストは紙で解きたい、解かせたいというニーズも多いと思いますので、選べるようにしました。

—— 正誤を生徒に入力してもらうのは効率的ですね。そうですね。日々の小テ



大生隆洋氏

月間数百円のオプション機能として提供

—— 個別指導でも利用できるのでしょうか？

はい。個別指導でも問題なくご利用いただけます。

またユーザーの皆様からは「請求機能」や「集金機能」に関するご要望を多くいただいていますので、今秋の開発で、迅速に対応していきます。さらに生徒の住所や電話番号といった「原簿管理機能」も搭載する予定です。

—— 料金についてお聞かせください。

この「学習機能」はオプションとし、1IDにつき月間数百円で利用いただけるように予定しています。

FLENSが目指す新たな世界観

—— 今回の新機能で、どのような変化を起こしたいですか。

私たちは創業以来、『学びの場』の価値を高める『ミッション』に掲げてきました。今回の新機能追加もそのミッションに基づいたものであり、学びの質を高めることで学習の効率化、経営の効率化に貢献したいと考えています。

—— 御社の強い意気込みを感じます。

管理のみならず、先生と生徒の関係にも変化をもたせられたらと考えています。

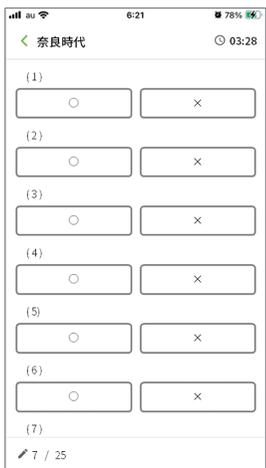
—— 小テストのコンテンツは提供しているのでしょうか。

5科目のコンテンツを当社で用意していますが、各塾の皆さん、教務に対するこだわりは強いと思いますので、問題に関しては各塾で搭載することもできるよ

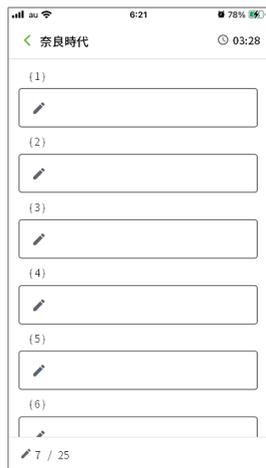
うになつていきます。

また単問単位の正誤データを蓄積できれば、理解度の低い生徒の抽出はもちろんです。授業の進め方に課題のある先生の抽出もできますし、そもそも本部・教務の設計したカリキュラムや小テストに課題があるかなどが見えてきて、いいマイルストーンになるでしょう。

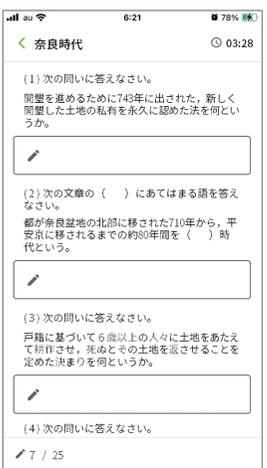
<タイプ3>
プリント等で学習
→ 正解/不正解入力



<タイプ2>
プリント等で学習
→ 回答入力+自動採点



<タイプ1>
アプリ問題文表示
→ 回答入力+自動採点



3タイプの利用想定 (画面は開発中のものです)